

「実写コンテンツの製作人材の育成研修」－世界基準のショーランナー&ドラマクリエイター育成－

ハリウッドで学ぶ！

世界基準のドラマ・
ショーランナー集中研修

- ・プログラムの狙い
- ・プログラム概要
 - 研修の概要
 - 事前学習(参加者対象のプレセミナー)
 - 現地講義スケジュール(案)
 - 研修場所<会議室・スタジオ>(案)
- ・参加にあたっての留意事項
- ・応募方法 (提出書類と事前課題)
- ・選定方法 (選定方法と選考結果の通知について)

大目的:

日本の放送事業者、番組製作会社等を対象に、世界水準の高品質な実写コンテンツの製作及び海外展開に必要なノウハウやスキル等の取得・向上を目指す研修機会を提供すること等を通じ、海外展開を前提とした放送コンテンツの製作に携わる人材の育成を図ること

課題意識:

・ハリウッドのテレビドラマシリーズはなぜ1話 USD10M(15億円)*もの予算をかけられるのか？

→世界全体を市場としているプロダクト(商品)であり、巨額の投資に見合う収益が主要因。

・予算規模以外の差異はどこにあるのか？

→ストーリーの差異・企画開発・企画販売・スタジオ企画開発・予算とスケジュール・実制作

・単なる座学ではなく、自らの企画を基に実際に学んだプロセスを適用できるか？

→ピッチコンテストに参加し、ハリウッドフォーマットでの企画開発を自分事化する。

*作品による。

<https://variety.com/2017/tv/news/tv-series-budgets-costs-rising-peak-tv-1202570158/>

<https://www.statista.com/statistics/1249573/most-expensive-netflix-original-series-production-cost-per-episode/>

プログラム概要

研修の枠組		内容
研修の設計	目的	- 本研修プログラムを通じて、世界水準の高品質な放送コンテンツ製作をけん引する意欲のある方に、米国における放送コンテンツの製作プロセスを確認し、世界的に競争力のある日本の実写コンテンツを創出していくために必要な要素を体感していただく。 - 企画プレゼン研修などを通じて、海外で価値流通するコンテンツをプロデュースできる人材となるために必要なノウハウの一端を学んでいただく。
	対象	放送事業者、番組製作会社等に勤務しているドラマのプロデューサーやディレクター 10名程度 ※キー局各社から推薦される最大5名を含む。
	参加要件	国内の放送事業者、番組製作会社等に勤務しているドラマのプロデューサーやディレクターのうち、以下の要件を満たす方 - ドラマの企画案を持ち、企画立案・プロデュース能力に優れている方 - 英語力は不問だが、英語でのカリキュラムに抵抗なく取り組める方(※全編逐次通訳を入れる予定) 「(1)事前学習(プレセミナー)」 「(2)実地研修」に参加できる方(一部参加できないなど事情がある場合には応募時にあらかじめその旨事務局に連絡すること)
実施概要	実施期間	2025年11月3日週（現地4日間想定）※予備11月10日週
	実施方式	米国(Culver City、Hollywoodなど)での実地研修
	研修機関	STORIES INTERNATIONAL, INC.
その他	事前学習	STORIESグループCEO 鈴木智也のセミナーを検討中『米国映像産業市場概論』『企画ピッチ概論と事前準備』等 日時: 2025年10月21日17:00-19:00 ※終了後に懇親会実施予定 場所: STORIESスタジオ(東京都港区赤坂5-2-20 赤坂パークビル1F)
	通訳方法	実地研修では、全編通訳(逐次想定)を入れる予定
	費用負担	- 参加費、現地での宿泊費・研修機関や事務局が手配した交通手段に係る交通費は無料 - 事務局で確保したホテルに宿泊すること - 上記以外の費用(例:米国への往復航空運賃・日本国内移動旅費等)は参加者負担

事前学習(参加者対象のプレセミナー)

- 渡航前に研修参加決定者に対して概論と準備のためのセミナーを実施し、現地での研修が参加者にとって大きな学びとなるよう、目的に対して、高い効果創出を狙う。

・事前学習内容(予定)

- 米国映像産業市場概論
 - 映像産業の歴史
 - 映像産業の市場
 - 映像産業プレイヤーと競争環境
- 企画ピッチ概論と事前準備
 - TVフォーマットの企画書の基本形
 - 口頭ピッチはどのように行われるか？
 - 米国研修に向けての事前課題の準備について

・事前学習講師候補



鈴木 智也 STORIESグループ CEO

早稲田大学法学部卒業後、博報堂入社、メディア環境研究所等で次世代メディアコンテンツビジネスの研究・コンテンツプロデュースを担当。2007年 南カリフォルニア大学映画学部大学院プロデューサー学科(USC Peter Stark Program)に留学、2009年 MFA取得(芸術学修士・モーションピクチャープロデュース専攻)

2011年 博報堂DY等の出資でSTORIESを設立、CEO就任。2013年、米国ロサンゼルスに、STORIES INTERNATIONAL, INC.を設立。同社は日米で13年にわたり、1000以上の広告・コンテンツを企画・プロデュース。テレビ番組の海外展開としてTBSのドラマタイトルカタログをリメイク企画開発する共同事業をTBSと進行中。

・ハリウッドプロデューサー研修講師(UNI JAPAN)・コンテンツ産業人材発掘育成事業映像など若手映像等人材海外研修・国際ネットワーク構築事業講師・国際共同制作ピッチ作成ガイド執筆(UNI JAPAN)

・大阪芸術大学放送学科ゲスト講師・カンヌライオンズ・エンターテインメント部門審査員・スパイクスアジア・エンターテインメント部門審査員・Young Director Award審査員

著書 The Art of Branded Entertainment(Peter Owen Publishing)(共著) ブランデッドエンターテインメント(宣伝会議出版)(翻訳・共著)

現地講義スケジュール(案)

日程		内容	
DAY1	AM	テレビフォーマット概論	・ハリウッド発の放送コンテンツ(テレビフォーマット)の種類と、企画～制作～配信・放送の流れを理解する
		ストーリーテリング	・テレビフォーマットのメインコンテンツである、連続ドラマのストーリーフォーマットを理解する ・併せて、ノンスク립テッドとされるリアリティーショウやドキュメンタリー、コメディなどの種別を理解する
	PM	企画書とピッチ	・企画の作り方、売り方を意識して、連続テレビドラマシリーズの企画書開発、シーズン構成を理解する
DAY2	AM	予算	・脚本を分析し、予算・スケジュールに落とし込む工程を理解する ・脚本の各シーンに必要な人物・設備・道具等に応じて最適なスケジュールを組む講義を行い、米国のドラマコンテンツ制作のスケール感を実践的に理解する
		スケジュール	
	PM	スタジオ見学	・メジャースタジオや可能であれば実際の撮影現場などを見学する(候補) 1. Sony Pictures Studio 2. Paramount Pictures Studio 3. Warner Brothers Studio
DAY3	AM	企画書ピッチ作成ガイド	・事前学習で作成した、自身が海外に展開したいコンテンツの企画書をもとに、ブラッシュアップする方法を知る
		エージェンシーについて	・米国と日本のタレントエージェント・マネジメントの違いを理解する
	PM	リアリティーショウ・コメディー (or 後半 ワークショップ)	・ノンスク립テッドフォーマット(リアリティーショウ・コンテスト)や、コメディにおけるストーリーテリングの違いを理解する
DAY4	AM	ワークショップ (企画ブラッシュアップ)	・講義を踏まえ、実際に企画書をブラッシュアップする
	PM	ピッチコンテスト	・各自が企画をピッチする
		講評	・企画ピッチに対する講評を受ける

※いずれの講義枠も、候補期間に参集可能な講師の適性及びスケジュールの組み合わせに応じて調整し、確定する

研修拠点 候補(案)

- プログラムのメイン拠点として、HollywoodやCulver Cityなど映像産業の中心といわれる街の中で、研修のしやすいスペースを候補に実施する想定。

※あくまでも候補であり、現時点で確保しているものではありません。



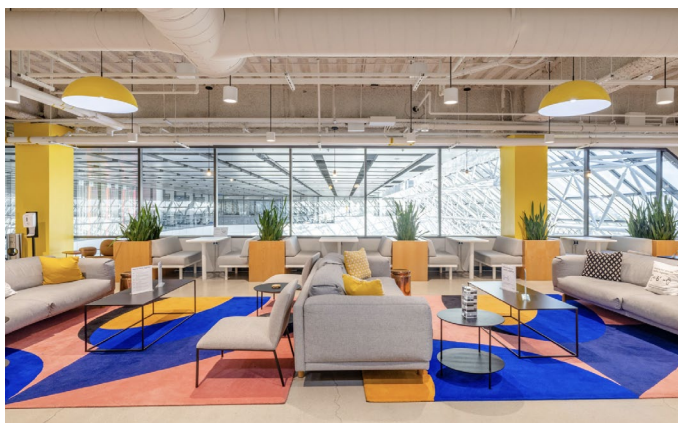
Culver City

Co-workingスペース

開放的なスペースで、約10名まで収容可能の会議室を持っている。

Downtown Culverやロサンゼルス空港に近接しており、主要交通機関へのアクセスも良い。

400 Corporate Pointe, Suite 300
Culver City, CA 90230



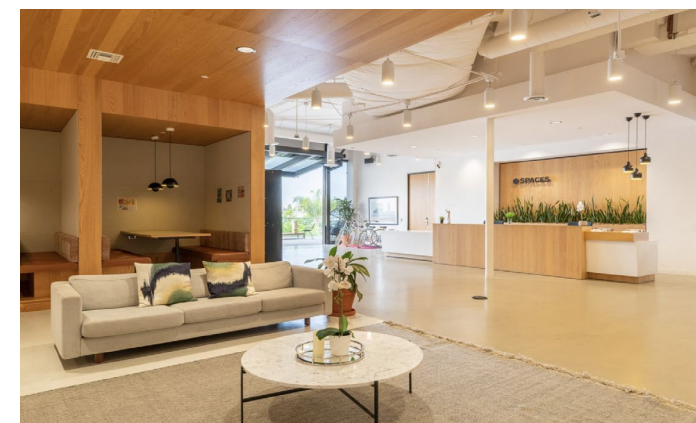
Downtown Culver

Co-workingスペース。

1～100名までのプライベートオフィスが用意されている。

近年開発されているDowntown Culverの中心で、SONYスタジオやAmazonスタジオの近く。

10000 Washington Boulevard,
Culver City, CA 90232



Hollywood

Co-workingスペース。

15名まで収容可能のプライベートミーティングルームの貸し出しをしている。

Chinese Theater やHollywoodの中心地まで車で10分。

1800 Vine Street, Los Angeles, CA
90028

スタジオ見学 候補(案)

- HollywoodやCulver Cityなどで、五大スタジオやテレビドラマ撮影スタジオを候補に、数か所程度見学する想定。
※あくまでも候補であり、現時点で確定しているものではありません。



Sony Pictures Studio

Columbia Picturesを傘下にもち、Virtual Productionなど最先端の技術を兼ね備えているスタジオ。長寿クイズ番組『Wheel of Fortune』や大ヒットシリーズ『Breaking Bad』の撮影現場。

その他、撮影が行われたテレビ番組(例)
『The Guardian』(2001-2004)
『Joan of Arcadia』(2003-2005)
『Close to Home』(2005-2007)
『glee』(2009-2015)
『Ray Donovan』(2013-2020)
『Insecure』(2016-2021)



Paramount Pictures Studio

ハリウッドで最も長い歴史を持ち、現存する唯一のメジャー・スタジオ。『Tom Clancy's Jack Ryan』や『Reacher』など最近話題となったTV番組も制作している。

その他、撮影が行われたテレビ番組(例)
『Frasier』(1993-2004)
『Dr. Phil』(2002-2008)
『Grace and Frankie』(2015-2022)
『Barry』(2018-2023)
『The Rookie』(2018-現在)
『The Offer』(2022)



Warner Brothers Studio

100年以上の歴史を持ち、ロサンゼルスで最も忙しい現役スタジオの1つ。超人気テレビシリーズ『Friends』の撮影現場の一つ。

その他、撮影が行われたテレビ番組(例)
『ER』(1994-2009)
『Gilmore Girls』(2000-2007)
『The Big Bang Theory』(2007-2019)
『Pretty Little Liars』(2010-2017)
『Lucifer』(2016-2021)
『Young Sheldon』(2017-2024)

留意事項

費用負担

- 参加費、現地での宿泊費・研修機関や事務局が手配した交通手段に係る交通費は無料
- 事務局で確保したホテルに宿泊すること
- 上記以外の費用(例:米国への往復航空運賃・日本国内移動旅費等)は参加者負担

修了証の発行

- 研修終了後、実地研修の全日程に参加し基準を満たした研修者に対し、修了証を交付

本研修終了後の対応

- 研修参加者には研修機関や事務局が実施する調査(アンケート等)に協力すること。なお、アンケートは複数回実施予定
- 2026年2月末～3月上旬を目途に、「実写コンテンツの製作人材の育成研修－世界基準のショーランナー＆ドラマクリエイター育成－」の全プログラムの参加者・関係者を対象とした報告会を開催する予定です。本研修の参加者には可能な限り参加にご協力いただきます。これに限らず、研修機関や事務局は、研修終了後も参加者同士のつながりを継続させたり次年度以降の研修生と交流したりする環境づくり等をします。研修参加者にはこの取り組みにご協力いただきます。

守秘および研修内で用いるドラマの企画案の取扱い

- 研修参加者は情報守秘等に対する誓約をしていただいたうえで参加いただきます。(講義の内容・詳細も守秘に含まれます。)
- 各参加者はドラマの企画案を持ち込み、研修を通じてブラッシュアップしたうえで、最終日に全参加者の前でピッチを実施していただきます。
- なお、当研修を通じて、提案した内容に関連して、類似のプロジェクトが参加者および関係者によって実現する可能性も否定はできませんが、将来的に何かしらの問題が発生した場合においても総務省・事務局・研修機関が何かしらの損害賠償の責を負うことはありません。

応募方法

以下1.～5.の資料を事務局宛に、提出期限までに提出してください。

提出書類

1. 申請書兼本人承諾書(公募サイト上の指定様式をご利用ください)
2. パーソナルインフォメーション(自己紹介資料として、ご経歴・作品などを記載してください:様式自由、A4縦 1ページ以内)
3. パーソナルステートメント(研修への参加動機を記載してください:様式自由、A4縦 1ページ以内)
4. 企画案(様式自由、A4 4～8ページ以内程度)
海外市場(グローバルOTTの日本法人経由等ではなく、主として米国テレビ局・OTTプラットフォーマー)を経由して、全世界で視聴されるコンテンツとして、受け入れられると考えられる企画案
【企画案の内容】
 - 企画概要(ログライン・ジャンル・フォーマット等)
 - トリートメント(世界観・キャラクター・シノプシス・シーズン展開案(キービジュアル等))
 - プロデュースステートメント(なぜこの企画をやりたいか?時代性・市場性・主観的熱意等)
5. 所属組織上長の確認書(提出は任意。公募サイト上の指定様式をご利用ください)

応募受付期間

2025年9月3日(水)～2025年10月2日(木)17:00締切(メール必着)

応募書類の提出先

株式会社三菱総合研究所 モビリティ・通信事業本部内
「実写コンテンツの製作人材の育成研修」事務局宛
E-mail:koubo-content-hrd@ml.mri.co.jp
※応募にあたっての注意事項は公募要領を確認してください

選定方法と選考結果の通知

応募書類をもとに、応募要件を満たしているかどうかを確認したうえで、「選考の観点」を前提に検討します。
なお、書類の確認に加えて、ヒアリングを実施する場合があるので、事務局からの求めに応じて対応すること。

選考の観点

能力(スキル):

- 企画立案・プロデュース能力に優れている
- 英語力は不問だが、英語でのカリキュラムに抵抗なく取り組める

実績(トラックレコード):

- 一定のドラマ製作の実績(必ずしも人気作である必要は無い)があり、海外市場でのポテンシャルを持つドラマの企画案を持っている

野心(アンビション):

- 決められたルールの枠内で上手く製作するだけでなく、必要であればルールの枠を越えてでも実現していく姿勢を持っている

選考結果の通知

選考結果は、**10月14日(火)中**に、事務局より応募時に登録いただいたメールアドレスにメールにて通知する。(予定)

なお、選考結果に関するお問い合わせには応じない。